

## 平成 27 年度 223AV 配信・百周年記念館 WG 業務報告

○志田賢二，渡辺裕太，笠村啓司，寺村浩徳，青木敏裕，佐藤宇紘，谷口勝紀，平田正昭，  
吉永徹，友田祐一，上村実也，山本光治

### 223AV 配信・百周年記念館 WG

#### 概要

当ワーキンググループの業務は工学部 2 号館で開催される各種行事の映像・音声の個別教室への配信および、工学部百周年記念館で開催される行事（学会、研究会、講習会、シンポジウム等）における館内設備の利用に際しての技術的サポートを業務としている。本年度は各専門技術室より 1～2 名、再雇用職員 1 名が加わり 12 名体制にて業務を担当した。支援体制として技術部企画調整室の指示により再雇用職員 1 名を専任職員とし、平日の業務を担当する事とし、時間外や休日等の業務を他のメンバーで担当する事を年度始めに確認した。

本年度の技術部への業務依頼は 64 件で、その内訳を図 1 に示す。講義、講習会、学会、シンポジウムの開催支援が大半を占める。前年度と比べ業務依頼数が 26 件ほど少ないが、11 月～12 月まで施設改修工事のため百周年記念館の利用ができなかったためであると考えられる。この内 60%の業務を専任職員が担当している。学生実験や研究支援を本務とする他メンバーの負担はかなり軽減されたようである。この他に、学科主催の行事に際してワーキンググループを経ずに最寄りの専門技術室への業務依頼が何件かあったようである。

本年度、百周年記念館における総利用実績が 185 件であることからおよそ 70%の利用者は自ら操作をして利用した事になる。技術部の支援体制の周知徹底および、平成 26 年度に作成した写真付き操作マニュアル「百周年記念館利用案内」をユーザーが活用していただいた結果ではないかと考えられる。今後も学術研究・教育支援の一環として技術サポートは継続されるが、マニュアルの改訂や操作講習会の実施で業務負担を軽減しつつも、ユーザーにとって利用しやすい施設とする事ができるのではないかとと思われる。

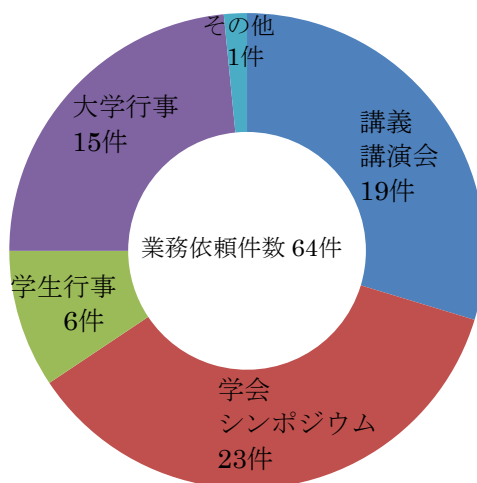


図 1 平成 27 年度業務依頼数とその内訳